

2026年6月30日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、畜産関連、観光関連が持ち直し、生産活動は持ち直しの動きがみられ、消費関連は一部で持ち直している。一方で、雇用関連は横ばい、投資関連は低調となっている。全体として改善傾向はみられるが、今後の海外情勢の動向などに留意する必要がある。

生産活動は、3月の鉱工業生産指数が4か月連続で前年を上回った。食料品、窯業・土石製品が前年を下回ったものの、電子部品・デバイス、汎用・生産用機械が前年を上回った。

畜産関連では、5月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5、去勢A4ともに前年を上回った。一方、豚肉は前年を上回ったが、ブロイラーもも肉はほぼ前年並み、むね肉、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、5月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数、4月の家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回った。一方で、4月の百貨店・スーパー販売額は前年並み、コンビニエンスストア販売額は前年を下回った。

観光関連では、5月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、3か月ぶりに前年を上回った。種子島・屋久島地区は4か月連続で前年を上回り、奄美地区は8か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、多くの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、4月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.02倍となった。

【生産活動】... 持ち直しの動き

3月の電子部品・デバイスの鉱工業生産指数は前年を上回った。スマートフォンやデータセンター向けの半導体が順調に推移しているなど、受注は回復している。

4月の焼酎生産は、2か月ぶりに前年を上回った。県内、県外への出荷、未納税移出のいずれも前年を上回り、出荷量は2か月連続で前年を上回った。

3月のかつお節生産は、6か月連続で前年を下回った。

5月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが11か月連続で前年を下回り、民間工事向けは3か月連続で前年を下回り、全体では28か月連続で前年を下回った。

5月の紙パルプ生産は、3か月連続で前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

【畜産関連】... 持ち直し

5月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。5月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5、去勢A4ともに前年を上回った。4月の枝肉生産量は前年をやや上回った。

5月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は、6.4%増と3か月連続で前年を上回った。4月の枝肉生産量はほぼ前年並みとなった。

5月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉はほぼ前年並み、むね肉は1.4%減と20か月ぶりに前年を下回った。5月の処理羽数は前年を上回った。

5月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、生産量の回復や高値による買い控え等の影響により7.4%減と4か月連続で前年を下回った。4月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 一部で持ち直し

4月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品、飲食料品は前年を下回ったものの、その他商品が前年を上回り、全体では前年並みとなった。

4月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストアは前年を上回り、コンビニエンスストアは前年を下回った。

5月の乗用車新車登録台数は、2か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は2.9%増、小型車が11.7%増となった。5月の軽自動車届出台数は2か月ぶりに前年を上回った。

【観光関連】... 持ち直し

5月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、3か月ぶりに前年を上回った。関東などの国内客の入り込みが減少した一方、韓国からの入り込みが増加した。

鹿児島地区は、関東や中国からの入り込みが減少したが、九州からの入り込みが増加し、3か月ぶりに前年を上回った。

霧島地区は、九州からの入り込みが減少したものの、韓国からの入り込みが増加し、3か月ぶりに前年を上回った。

指宿地区は、個人客が減少したものの、団体客が増加し、3か月ぶりに前年を上回った。

種子島・屋久島地区は4か月連続で前年を上回り、奄美地区は8か月連続で前年を下回った。

5月の主要観光施設入場者数は、多くの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... 低調

5月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

4月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

4月の新設住宅着工戸数は、前年を大幅に下回り、16.9%減となった。持家、貸家、分譲のいずれも前年を大幅に下回った。3か月移動平均は前年を大幅に下回り、29.6%減となった。

4月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3か月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

4月の輸出額は、ゴムタイヤ及びチューブが前年を下回ったものの、食料品及び動物、パルプ及び古紙、木材が前年を大幅に上回り、全体では29.4%増と9か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油が全減、穀物及び同調製品も前年を下回り、全体で84.9%減と5か月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】... 横ばい

4月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント下回る1.02倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業は前年を上回り、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を

下回った。

【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った

4月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.8%上回った。

【企業倒産】… 倒産件数は前年を下回った

5月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が5件で2か月ぶりに前年同月（10件）を下回った。一方、負債総額は27億19百万円で前年同月（21億26百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）